

ご検討にあたってご確認いただきたいこと

必ず
ご確認
ください

ご契約の際は「ご契約に際しての重要事項(契約概要・注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください

限定告知認知症一時金特約付払込期間中 無解約返戻金限定告知骨折治療保険について

- この保険は健康に不安がある方でも簡単な告知によりお申込みいただけるよう設計された商品です。このため、保険料は当社の通常の保険に比べ割増しされています。
- 配当金・満期保険金はありません。
- 契約者貸付・保険料の自動振替貸付のお取扱いはありません。
- 同一の保障内容であっても、保険料払込期間の長い契約に比べ短い契約の方が、保険料の払込総額が高くなる場合がありますので、ご検討の際は十分ご確認ください。

保険料のお払込みの免除について

つぎの状態に該当した場合、以後の保険料のお払込みが免除され、保険料のお払込みは継続されたものとしてお取扱いたします。

- ケガにより所定の高度障害状態に該当したとき
- ケガにより所定の身体障害状態に該当したとき

※疾病により所定の高度障害状態・身体障害状態になられた場合は、保険料のお払込みは免除されません。

お支払事由の変更について

公的医療保険制度または公的介護保険制度等の変更が将来行われたときには、主務官庁の認可を得て将来に向かってお支払事由または保険料払込免除事由を変更することがあります。

解約返戻金について

- 保険料払込期間中の解約返戻金はありませんが、保険料払込期間満了後は、骨折治療給付金の2倍の解約返戻金があります(保険料がすべて払い込まれていることを要します)。
- ※保険期間の全期間にわたって保険料をお払込みいただくご契約の場合、保険期間を通じて解約返戻金はありません。
- 特約には解約返戻金はありません。

現在のご契約の解約等を前提とするお申込みについて

現在のご契約を解約または減額し、新たなご契約へのお申込みをご検討されている方は、「ご契約に際しての重要事項(注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

生命保険募集人について

当社の生命保険募集人(社員・募集代理店)はお客さまと当社の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。保険契約はお客さまからの保険契約のお申込みを当社が承諾したときに有効に成立します。なお、当社の生命保険募集人の身分・権限などに関して確認をご要望の場合には、最寄りの支社もしくは本社までお問い合わせください。

金融機関を募集代理店として本商品にご加入される お客さまはつぎの点にご留意ください

- 本商品は生命保険であり預金などではありません。したがって、元本保証はありません。また、預金保険法第53条に規定する保険金の支払対象ではありません。
- 本商品の契約お申込みの有無が、取扱金融機関とのその他の取引に影響を与えることはありません。
- 金融機関が本商品を募集する場合においては、法令によりお客さまの範囲ならびにご契約の条件が制限される場合があります。

笑顔をももる 認知症保険

限定告知認知症一時金特約付払込期間中無解約返戻金限定告知骨折治療保険

2024年10月改定

簡単な告知によりお申込みでき、
認知症発症前からサポートする保険



契約年齢 満20歳～満80歳

認知症サポート
SOMPO 笑顔倶楽部

認知機能低下予防から介護まで幅広くサポートするサービスをご用意しています。

必ず
ご確認
ください

法人で加入をご検討される場合、「法人向け保険商品のご検討に際してご留意いただきたいこと」を参照のうえ、
税務取扱についてご留意すべき事項をご確認ください。

SOMPOひまわり生命保険株式会社

〈公式ウェブサイト〉 <https://www.himawari-life.co.jp/>

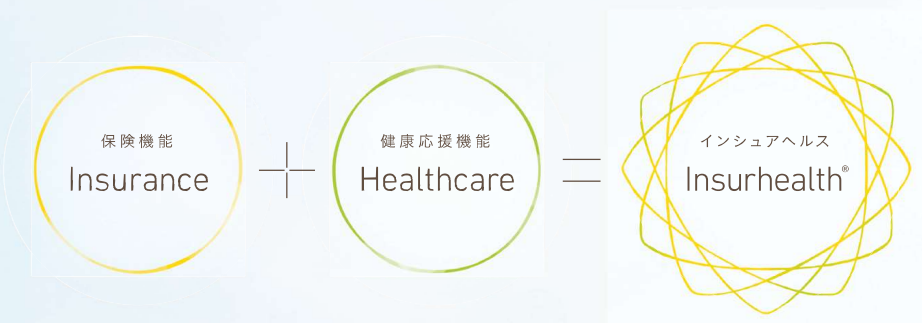
SOMPOグループの一員です。

お問い合わせ先

インシュアヘルス

Insurhealth®

万が一を可能な限りなくしていく
保険と健康を組み合わせた新しい価値



保険本来の役割 (Insurance)と
毎日の健康を応援する機能 (Healthcare)を組み合わせた、
SOMPOひまわり生命が提供する新しい価値です。
インシュアヘルスの提供を通じて、「万が一」を可能な限りなくし、
豊かな人生や夢の実現をサポートする存在を目指します。

笑顔をももる認知症保険のポイント

- Point 1** 簡単な告知によりお申込みいただけます。
 - Point 2** 初めて軽度認知障害・認知症と診断確定されたとき、
軽度認知障害一時金・認知症一時金を
受け取れます。(それぞれ1回限り) (限定告知認知症一時金特約)
 - Point 3** 骨折の治療を受けたとき、骨折治療給付金を
受け取れます。(通算10回限度)
ひび(亀裂骨折)や疲労骨折も対象です。
 - Point 4** 不慮の事故または所定の感染症により
死亡されたとき、災害死亡給付金を受け取れます。
- オプション**
- Point 5** がん(悪性新生物)・急性心筋梗塞・脳卒中により
所定の事由に該当した場合、
以後の保険料のお払込みは必要ありません。
(限定告知医療用特定疾病診断保険料免除特約)

はじめに

保障内容

確認事項・告知項目

特約・制度

サービス

認知症は身近な症状のひとつです



● 老化によるもの忘れと認知症の違いは？

歳をとるにつれて、人の名前が思い出せなくなるなどの老化によるもの忘れは起こります。しかし、認知症は老化によるもの忘れとは違います。老化によるもの忘れは物事の一部を忘れていますが、ヒントがあれば思い出せます。それに対して認知症は、物事の全体がすっぽり抜け、ヒントがあっても思い出すことができません。

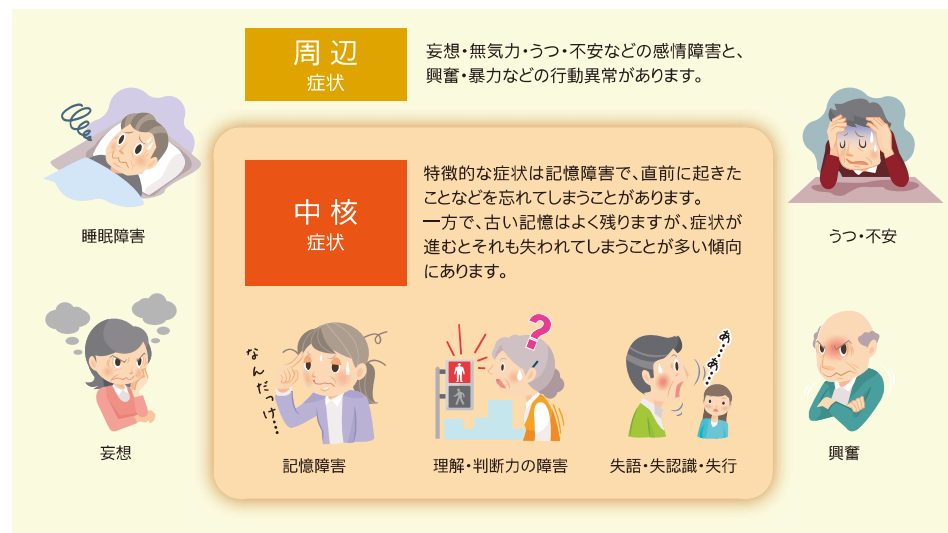
認知症になると、一度は正常に発達した脳の知的機能があるときから少しずつ悪くなっていき、日常生活に支障が出てきます。認知症の人の脳では、病気などの原因によって神経細胞の破壊が進んでいると考えられています。



■老化によるもの忘れと認知症の違い	老化によるもの忘れ	認知症
原因	老化による 自然な変化	脳の神経細胞の 病的な変化
もの忘れ	体験したことの一部を忘れる (ヒントがあれば思い出す)	体験したことをまるごと忘れる (ヒントがあっても思い出せない)
判断力	低下 しない	低下 する
自覚	忘れたことを 自覚している	忘れたことの 自覚がない
日常生活	支障は ない	支障を きたす
進行	あまり進行 しない	少しずつ 進行する

● 認知症になると、どのような症状が出るの？

認知症の症状は、記憶障害など認知症の人に必ずみられる「中核症状」と、そこに環境要因や個人の性格などが加わって起こる「周辺症状」があります。

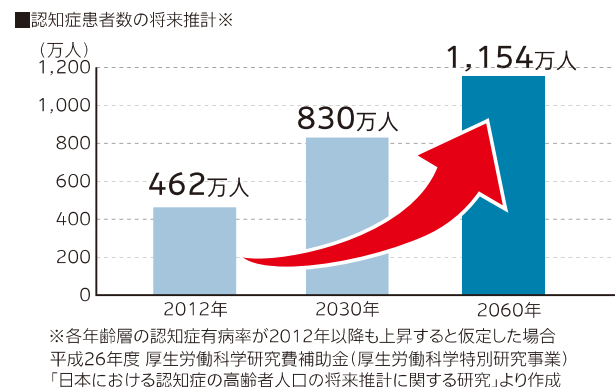


朝田教授監修「認知症ケアブック(当社作成)」より抜粋

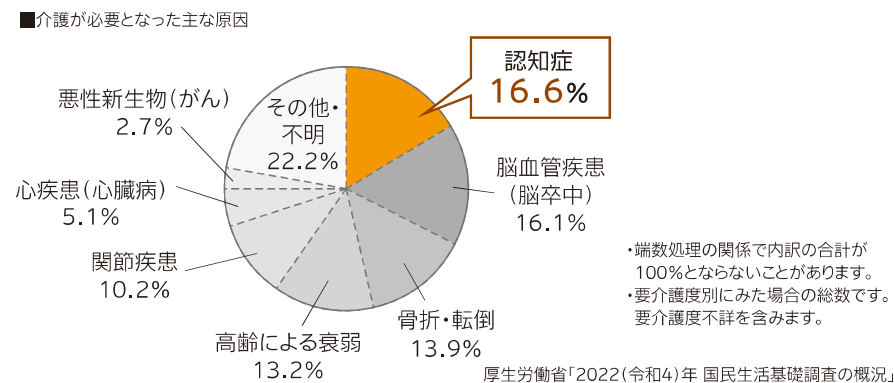
データでみる 認知症

65歳以上の高齢者で認知症になる人は年々増加

65歳以上の高齢者で認知症になる人は、2030年には830万人、2060年には1,154万人に年々増加すると推計されています。



介護が必要となった原因のトップは認知症



認知症は「早期発見」・「予防」がキーワード

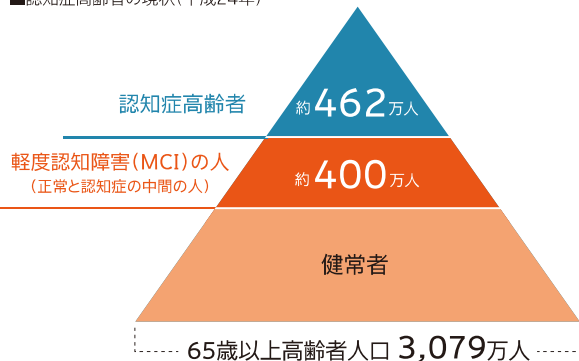
● 軽度認知障害(MCI)は認知症予備軍

健常者と認知症の間には、軽度認知障害(MCI)という「認知症予備軍」といえる状態があることがわかってきました。

軽度認知障害(MCI)は認知機能に軽度の障害がある状態で、病気ではありません。一言でいえば「忘れっぽいけれど、日常生活での判断は比較的しっかりしている状態」といえます。



■ 認知症高齢者の現状(平成24年)



厚生労働省「第115回社会保険審議会介護給付費分科会資料」認知症施策の現状について

● 軽度認知障害(MCI)のケアのポイントは、例えば以下の5つです。

運動の習慣をつける

運動が認知機能のアップにつながる事が、臨床研究で明らかになっています。



食事を改善する

認知機能低下予防に効果があると認められている栄養素を積極的にとりましょう。魚介類に豊富に含まれているDHAやEPA、各種ビタミン、ポリフェノールがおすすめです。



生活習慣病を改善する

「糖尿病」「脂質異常症」「高血圧」などの病気は、認知症の発症を早める要因になる可能性があります。しっかり治療に向き合うことが大切です。さらに認知症の危険因子であるタバコ(喫煙)やアルコールの多飲は避けましょう。

知的刺激を高める

脳を活性化させる働きのある、さまざまな脳のトレーニングに挑戦してみましょう。一度に2つ以上の課題に取り組むデュアルタスク(二重課題)も効果的です。

社会脳を鍛える

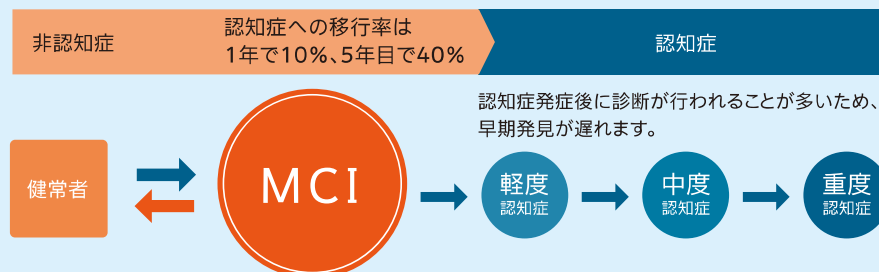
社会からの孤立は、認知症の症状を悪化させることが知られています。デイケアを始め、できる範囲で地域の交流活動に参加しましょう。

MCIなら26%が健常者へと回復することがわかってきています

MCIの状態は、多少のものの忘れがあるものの、日常生活にはほとんど支障のないレベルなので、家族が「これは年齢相応のものだろう」と考え放置するケースも多くあります。しかし最近では、この**MCIの段階でのケアが非常に重要**だということがわかってきました。

その理由は、MCIを放置することで認知機能がどんどん低下してしまうからです。MCIから認知症へと進んでしまう人の割合は年平均で10%、5年目には約40%の人が認知症を発症するといわれています。

逆に、**MCIは適切な予防対策を行うことで回復したり、認知症の発症を遅らせる可能性があります。**これまでの研究で、MCIと診断された後、26%が健常者へと回復することがわかってきています。**大切なことは早めにMCIに気づき対策を行って、認知症への移行を防ぐことです。**



出典:Canevelli M, et al., J Am Med Dir Assoc. 2016 Oct 1;17(10):943-8.

笑顔をまもる **認知症保険** なら**簡単な告知**によりお申込みでき、**認知症発症前からあなたとご家族をサポート**します!

保障内容

保険期間：終身 限定告知認知症一時金特約の基準一時金額：100万円
 軽度認知障害一時金の支払割合：基準一時金額の5%
 主契約の基準給付金額(骨折治療給付金)：5万円
 災害死亡給付金額：主契約の基準給付金額(骨折治療給付金)の10倍

基本プラン

オプション

軽度認知障害※1

認知症※1

【限定告知認知症一時金特約】

①または②の場合、
一時金のお支払いは
それぞれ1回限りです。

初めて軽度認知障害と医師により
診断確定されたとき

5万円

【軽度認知障害一時金】

① 軽度認知障害一時金のお受取り後
初めて認知症と医師により
診断確定されたとき

95万円

【認知症一時金】※2※3※4

または

② 初めて認知症と医師により
診断確定されたとき

100万円

【認知症一時金】※3※4

骨折治療

【主契約】

通算10回限度

ひび(亀裂骨折)や
疲労骨折も対象!

→ P.9

骨折をしたと医師により診断され、
その骨折に対して
初めて治療を受けたとき

1回につき
5万円

【骨折治療給付金】※5※6※7

災害死亡

【主契約】

不慮の事故または所定の感染症により
死亡されたとき

50万円

【災害死亡給付金】※8

① 介護一時金

【限定告知介護一時金特約】

→ P.11

② 介護年金

【限定告知介護年金特約】

→ P.12

③ 保険料免除

【限定告知医療用特定疾病
診断保険料免除特約】

→ P.13

一生
生涯
保障

一生
生涯
保障



必ずご確認ください

限定告知認知症一時金特約の保障の開始は、
主契約の責任開始日*からその日を含めて
181日目となります。

主契約の
責任開始日* 限定告知認知症一時金特約の
責任開始日(181日目)

180日

軽度認知障害・
認知症 の保障

骨折治療
・
災害死亡 の保障

*ご契約のお引受けを当社が承諾した場合には、お申込みを受けた日または告知の日のいずれか遅い日が主契約の責任開始日となります。ただし、ご契約に責任開始期に関する特約を付加していないときは、第1回保険料(相当額)を当社が受け取った日(告知前に受け取ったときは告知の日)が主契約の責任開始日となります。

●限定告知認知症一時金特約の保障の開始前に認知症または軽度認知障害と医師により診断確定されていた場合、ご契約者または被保険者がその事実を知っている・いないにかかわらず、本特約は無効となります。

お仕事の内容・健康状態・保険のご加入状況などによっては、ご契約をお引受けできない場合や保障内容を制限させていただく場合があります。

●基本プランは《主契約》骨折治療給付金・災害死亡給付金+《特約》限定告知認知症一時金特約です。

●主契約は払込期間中無解約返戻金限定告知骨折治療保険です。

●保険料払込期間中の解約返戻金はありません。

●死亡時に解約返戻金がある場合には、解約返戻金を契約者へお支払いします。

●保険料払込期間満了後の解約返戻金は、主契約の基準給付金額(骨折治療給付金)の2倍となります(保険料がすべて払い込まれていることを要します)。

※1 対象となる認知症および軽度認知障害の例は、9ページをご覧ください。

※2 軽度認知障害一時金のお受取り後は、基準一時金額から軽度認知障害一時金額を差し引いた金額を認知症一時金としてお受取りいただけます。

※3 認知症一時金をお受取りになる場合、当社所定の取扱条件の範囲内で、年金にてお受取りいただくことも可能です。

※4 認知症一時金をお受取りいただいた場合、この特約は消滅します。

※5 責任開始期以後に発病した病気または不慮の事故もしくは不慮の事故以外の外因による傷害を直接の原因として、保険期間中にお支払事由に該当されたとき、お支払いします。責任開始期前に生じた疾病を原因とする骨折治療についても、責任開始期以後に症状が悪化したことにより、骨折治療の必要が生じた場合には、骨折治療給付金をお支払いします。

※6 同時に2種類以上の骨折治療をあわせて受けた場合または同一の日に複数の骨折治療を受けた場合には、1つの骨折治療についてのみ骨折治療給付金をお支払いします。

※7 骨折治療を複数回受けた場合、骨折治療給付金が支払われることとなった直前の骨折治療を受けた日から起算して180日以内に開始した骨折治療については、骨折治療給付金をお支払いしません。

※8 責任開始期以後に発生した不慮の事故または発病した所定の感染症を直接の原因として、保険期間中にお支払事由に該当されたときにお支払いします。ただし、不慮の事故の場合、事故が発生したその日を含めて180日以内の死亡に限りです。

はじめに

保障内容

確認事項・告知項目

特約・制度

サービス

確認事項

! お申込みに際しては、以下の点を十分ご検討ください。

この保険は、健康に不安がある方でも、簡単な告知でお申込みいただけるよう設計された商品です。
このため、保険料は、当社の通常の保険に比べ割増しされています。

骨折治療給付金のお支払いについて

1 骨折治療給付金は、180日に1回を限度にお支払いします。

骨折治療を複数回受けた場合、骨折治療給付金が支払われることとなった直前の骨折治療を受けた日から起算して180日以内に開始した骨折治療については、お支払いしません。

例 転倒して肋骨の骨折治療を受けたが、その治療日の5か月後に交通事故で、右大腿骨骨折と診断され骨折治療を開始した場合

180日

1 転倒して肋骨の骨折治療を受けた
お支払いします

2 交通事故で右大腿骨骨折と診断され骨折治療を開始
お支払いできません

2 は **1** から180日以内に開始された骨折治療のため、お支払いしません。

2 骨折治療給付金のお支払限度は、支払回数を通算して10回とします。

3 「ひび(亀裂骨折)」や「疲労骨折」もお支払いの対象となります。

病気が原因の骨折や不慮の事故による骨折はもちろん、**ひび(亀裂骨折)や疲労骨折などもお支払いの対象**です。

詳しくは「ご契約のおしり・約款」をご覧ください。

対象となる認知症および軽度認知障害とは

「限定告知認知症一時金特約」の対象となる**認知症**の例

- アルツハイマー病の認知症
- 血管性認知症
- レビー小体病を伴う認知症
- 前頭側頭葉変性症による認知症 など

「限定告知認知症一時金特約」の対象となる**軽度認知障害**の例

- アルツハイマー病による軽度認知障害
- 血管性軽度認知障害
- レビー小体病を伴う軽度認知障害
- 前頭側頭葉変性症による軽度認知障害 など

詳しくは約款別表「対象となる認知症および軽度認知障害」をご覧ください。

告知項目

告知項目 **今すぐご確認いただけます。**

満20歳から満80歳の方で、以下の質問がすべて「いいえ」なら、お申込みいただけます。

簡単な4つの告知でお申込みいただけます!

基本プラン

質問事項

1	<p>今までに、認知症(軽度認知障害を含む)と医師から診断を受けたことがありますか。または認知症(軽度認知障害を含む)の疑いがあると医師から指摘されたことがありますか。</p> <p>▲疑いがあると医師に指摘され、診察・検査の結果、認知症(軽度認知障害を含む)ではないと診断されている場合は「いいえ」の告知となります。</p>	いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	はい <input checked="" type="checkbox"/>
2	<p>下記のいずれかに該当していますか。 (1) 現在、以下①～⑤の日常生活の動作のいずれかにおいて、他の方の介助または補助具を必要としますか。 ①歩行 ②衣服の着替え ③入浴 ④食事 ⑤排せつ (2) 40歳以上の方におうかがいします。今までに、公的介護保険制度の要介護または要支援の認定を受けたことがありますか。または、現在、認定申請を行っていますか。</p>	いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	はい <input checked="" type="checkbox"/>
3	<p>過去2年以内に、【別表1】の病気(疑いがあると医師に指摘されている場合を含む)で医師の診察・検査・治療・投薬(薬の処方を含む)・入院したことまたは手術を受けたことがありますか。</p> <p>【別表1】 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、パーキンソン病、うつ病、双極性障害、心因反応、心身症、神経症、統合失調症、パニック障害、骨粗しょう症、狭心症、心房細動、弁膜症</p> <p>▲疑いがあると医師に指摘され、診察・検査の結果、【別表1】の病気ではないと診断されている場合は「いいえ」の告知となります。</p>	いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	はい <input checked="" type="checkbox"/>
4	<p>過去2年以内に、病気やケガで、入院したことまたは手術を受けたことがありますか。(③の病気は除きます。)</p> <p>※「はい」の場合でも、その内容によってはお引受けできる場合があります。 ▲「入院」には人間ドックを受診するための入院を除きます。 「手術」にはレーザー・内視鏡・カテーテルによるものを含みます。</p>	いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	はい <input checked="" type="checkbox"/> *

オプションを付加する場合は5つ目の告知が必要です!

オプション

質問事項

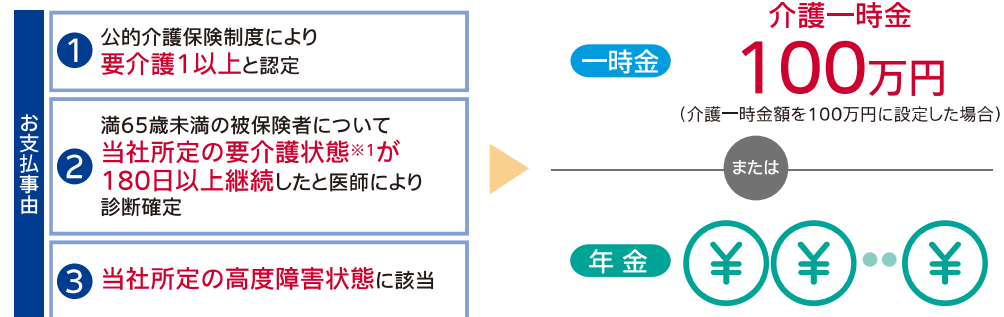
5	<p>●「限定告知介護一時金特約」「限定告知介護年金特約」「限定告知医療用特定疾病診断保険料免除特約」を付加しない場合は、告知不要です。 過去5年以内に、【別表2】の病気(疑いがあると医師に指摘されている場合を含む)で医師の診察・検査・治療・投薬(薬の処方を含む)・入院したことまたは手術を受けたことがありますか。</p> <p>【別表2】 がん(悪性新生物・悪性腫瘍)、上皮内がん、肝硬変</p> <p>▲「がん」には、白血病・骨髄腫・悪性リンパ腫・肉腫を含みます。 「上皮内がん」には、子宮頸部高度異形成または病理組織診断CIN3を含みます。 ▲疑いがあると医師に指摘され、診察・検査の結果、【別表2】の病気ではないと診断されている場合は「いいえ」の告知となります。 ▲慢性的肝臓の病気(C型肝炎など)から、過去5年以内に肝硬変へ移行していると医師に診断(疑いがあると医師に指摘されている場合を含む)されている場合は告知が必要です。</p>	いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	はい <input checked="" type="checkbox"/>
----------	---	---	--

- お申込みに際しては、告知書(告知サポート資料)を必ずご確認ください。
- 上記のすべてに該当しない場合でも、お仕事の内容や保険のご加入状況などによっては、お引受けできない場合があります。

オプション① 介護一時金

【限定告知介護一時金特約】

つぎのいずれかに該当した場合、**介護一時金**を受け取れます。
(介護一時金のお受取りは1回限りです。)



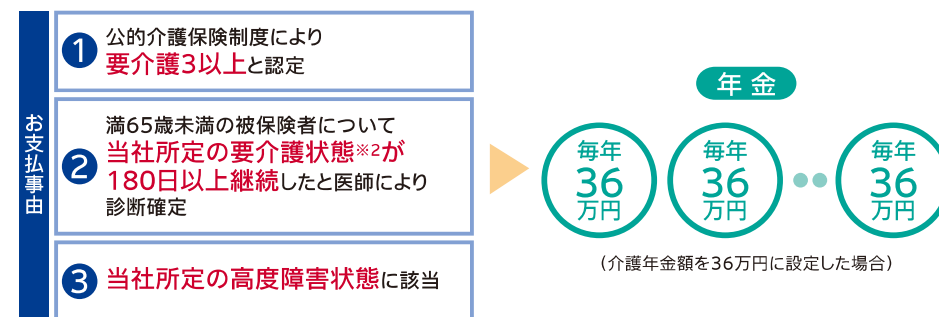
- ※1 「当社所定の要介護状態」とは約款別表に定めるつぎの①または②のいずれかに該当する状態をいいます。
- 下記A～Eのうち、1項目以上が全部介助または一部介助の状態に該当したとき
A.歩行 B.衣服の着脱 C.入浴 D.食物の摂取 E.排泄
 - 器質性認知症、かつ意識障害のない状態において見当識障害があると診断確定されたとき
(注)当社所定の要介護状態の判断基準は、公的介護保険制度の要介護認定基準とは異なります。
- この特約のお支払事由に該当した場合、特約が消滅し、以後この特約の保険料は不要です。

- 当社所定の取扱条件の範囲内で、一時金にかえて年金でのお受取りを選択することができます。**介護一時金の一部のみを年金でお受取りいただくことはできません。**
- 責任開始期前に発病した病気または発生した傷害を直接の原因としてお支払事由に該当した場合についても、責任開始期以後に症状が悪化したことまたは医学上重要な関係にある疾病を発病したことにより、お支払事由に該当された場合には、一時金をお支払いします。
- 詳しくは約款別表「対象となる要介護状態」「対象となる高度障害状態」をご覧ください。

オプション② 介護年金

【限定告知介護年金特約】

つぎのいずれかに該当した場合、生存している限り、終身にわたって**介護年金**を受け取れます。



- ※2 「当社所定の要介護状態」とは約款別表に定めるつぎの①または②のいずれかに該当した場合をいいます。
- 下記Aが全部介助または一部介助の状態に該当し、かつ、B～Eのうち2項目以上が全部介助または一部介助の状態に該当したとき
A.歩行 B.衣服の着脱 C.入浴 D.食物の摂取 E.排泄
 - 器質性認知症、かつ、意識障害のない状態において見当識障害があると診断確定され、かつ、上記B～Eのいずれかが全部介助または一部介助の状態に該当したとき
(注)当社所定の要介護状態の判断基準は、公的介護保険制度の要介護認定基準とは異なります。
- この特約のお支払事由に該当した場合、以後この特約の保険料は不要です。

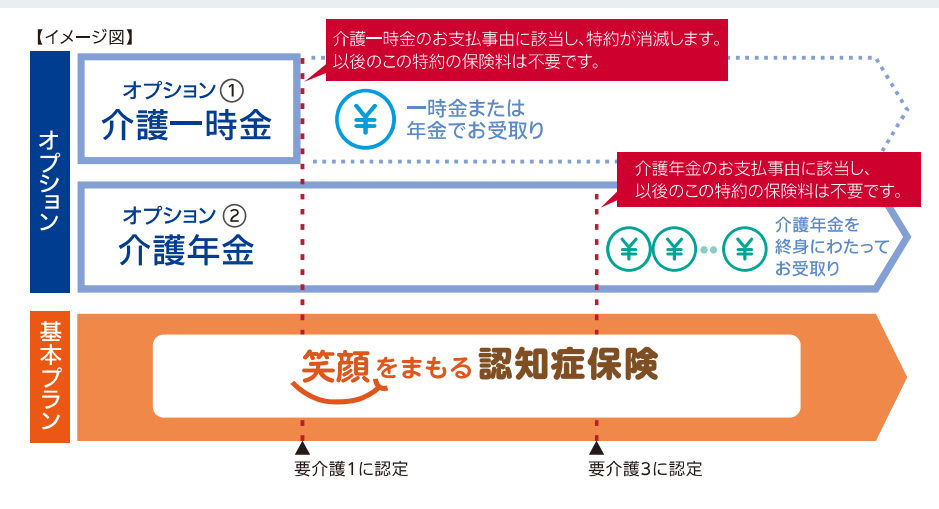
- 第1回の介護年金をお支払いした後、新たなお支払事由に該当しても、その請求による介護年金はお支払いしません。
- 責任開始期前に発病した病気または発生した傷害を直接の原因とする傷害・疾病についても、責任開始期以後に症状が悪化したことまたは医学上重要な関係にある疾病を発病したことにより、お支払事由に該当された場合には、年金をお支払いします。
- 詳しくは約款別表「対象となる要介護状態」「対象となる高度障害状態」をご覧ください。

公的介護保険制度における要介護度別の身体状態のめやす

(公財)生命保険文化センター「介護保障ガイド」(2021年7月改訂版)

身体の状態(例)		
要支援	1	要介護状態とは認められないが、社会的支援を必要とする状態 食事や排泄などはほとんどひとりできるが、立ち上がりや片足での立位保持などの動作に何らかの支えを必要とすることがある。入浴や掃除など、日常生活の一部に見守りや手助けが必要な場合がある。
	2	生活の一部について部分的に介護を必要とする状態 食事や排泄などはほとんどひとりできるが、日常生活に見守りや手助けが必要な場合がある。立ち上がりや歩行などに不安定さがみられることが多い。問題行動や理解の低下がみられることがある。この状態に該当する人のうち、適切な介護予防サービスの利用により、状態の維持や改善が見込まれる人については要支援2と認定される。
要介護	1	軽度の介護を必要とする状態 食事や排泄に何らかの介助を必要とすることがある。立ち上がりや片足での立位保持、歩行などに何らかの支えが必要。衣服の着脱などは何とかできる。物忘れや直前の行動の理解の一部に低下がみられることがある。
	2	中等度の介護を必要とする状態 食事や排泄に一部介助が必要。立ち上がりや片足での立位保持などがひとりできない。入浴や衣服の着脱などに全面的な介助が必要。いくつかの問題行動や理解の低下がみられることがある。
	3	重度の介護を必要とする状態 食事にとまどき介助が必要で、排泄、入浴、衣服の着脱には全面的な介助が必要。立ち上がりや両足での立位保持がひとりではほとんどできない。多くの問題行動や全般的な理解の低下がみられることがある。
重	5	最重度の介護を必要とする状態 食事や排泄がひとりできないなど、日常生活を遂行する能力は著しく低下している。歩行や両足での立位保持はほとんどできない。意思の伝達がほとんどできない場合が多い。

オプション① 限定告知介護一時金特約とオプション② 限定告知介護年金特約を同時に付加した場合



⚠ オプション①とオプション②は、対象となる「要介護状態」の範囲が異なります。

オプション③ 保険料免除

【限定告知医療用特定疾病】
診断保険料免除特約

三大疾病により所定の事由に該当した場合、**以後の保険料のお払込みは必要ありません。**

対象となる三大疾病および保険料払込免除事由

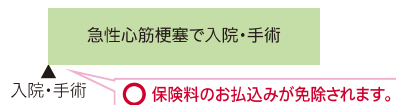
がん(悪性新生物)	急性心筋梗塞	脳卒中
被保険者が責任開始期前を含めて初めてがん(悪性新生物)と医師により診断確定されたとき ●「上皮内がん」「悪性黒色腫以外の皮膚がん」「責任開始日から90日以内に診断確定された乳がん」を除きます。 ●責任開始期前に診断確定されていた場合でも、責任開始日の5年前の年単位の応当日の翌日から責任開始日の前日までに診断確定がない場合、責任開始期以後の診断確定を初めてのものとみなします(再発※・転移を含む)。	被保険者が急性心筋梗塞を発病(再発※を含む)し、つぎのいずれかに該当したとき ①初めて医師の診療を受けた日からその日を含めて60日以上労働の制限を必要とする状態が継続したと医師により診断されたとき ②急性心筋梗塞の治療を直接の目的として所定の手術を受けたとき ●虚血性心疾患のうち、「急性心筋梗塞」「再発性心筋梗塞」が対象です(狭心症などは対象になりません)。	被保険者が脳卒中を発病(再発※を含む)し、つぎのいずれかに該当したとき ①初めて医師の診療を受けた日からその日を含めて60日以上言語障害などの他覚的な神経学的後遺症が継続したと医師により診断されたとき ②脳卒中の治療を直接の目的として所定の手術を受けたとき ●脳血管疾患のうち、「くも膜下出血」「脳内出血」「脳梗塞」が対象です。

※再発の定義については、「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

急性心筋梗塞を責任開始期以後に発病した場合

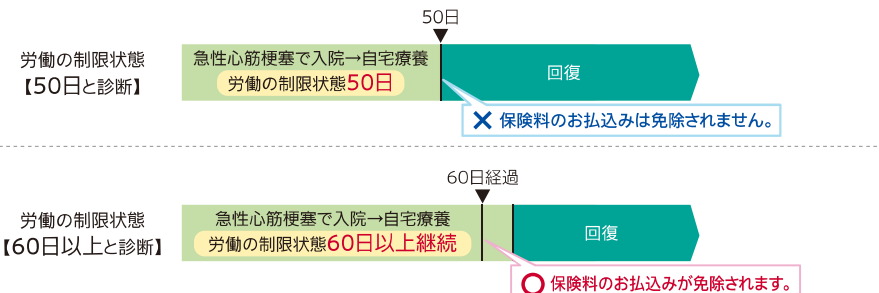
手術を受けた場合

治療を直接の目的として所定の手術を受けたとき、以後の保険料のお払込みが免除されます。



手術を受けなかった場合

労働の制限状態によって、保険料のお払込みが免除されない場合があります。



ご家族にも知ってもらいたい 制度・特約

ご加入いただく保険の内容を、ご家族と共有できる制度・特約をご用意しています。不測の事態が発生したときでも、ご家族にサポートいただけます。

●お申込み時に「ご家族連絡先登録制度」のご登録と「指定代理請求特約」の付加が必要です。

ご家族連絡先登録制度

「ご家族連絡先登録制度」にご登録いただきますと、あらかじめ登録されたご家族(以下「登録家族」)はご契約者に代わって契約内容のお問い合わせやお手続き書類の取り寄せなどができるようになります。

また、登録家族宛に認知症などの疾病に関する情報や各種サービスを書類などでご案内させていただきます。

なお、登録家族に請求権利はありません。請求手続きは請求権者からとなります。

登録家族へのご連絡

当社からお送りするご案内などが届かなかった場合や、災害などの発生によってご契約者との連絡が困難となった場合に、登録家族に連絡をします。

登録家族からのお問い合わせに回答

登録家族からの契約内容などのお問い合わせにお答えします。
 ※契約の特定と登録家族の本人確認後に対応可能となります。
 ※被保険者の傷病名・手術名・医療機関名などは被保険者の同意がない限り開示しません。

登録家族への各種書類の発送

当社から登録家族宛に各種書類を発送します。

- つぎの範囲内の方を、2名まで登録することができます。
 - 1.ご契約者の戸籍上の配偶者
 - 2.ご契約者の4親等以内の血族・姻族
- ご契約者を登録家族とすることはできません。
- 法人契約・個人事業主契約はご登録いただけません。
- ご契約者を同一とする他のご契約についても本制度の対象となります。

指定代理請求特約

被保険者が給付金などを請求できない特別な事情があるときに、あらかじめ指定したご家族など(以下「指定代理請求人」)が代わって請求できる特約です。

代理請求の対象となる給付金などについてはつぎのとおりです。

- 1.被保険者と受取人が同一人である給付金など
 - 2.被保険者と保険契約者が同一人である場合の保険料のお払込みの免除
- つぎの範囲内の方を、いずれか1名指定することができます。
 - 1.被保険者の戸籍上の配偶者
 - 2.被保険者の3親等以内の親族
 - 3.被保険者と同居または同一生計の方(例:内縁者・同性パートナーなど)※
 - 4.被保険者の療養看護に努めている、または、財産管理を行っている方※
 - 5.その他3および4に掲げる方と同等の給付金などを請求すべき適当な理由がある方として当社が認めた方(例:4親等の親族など)※

※当社所定の書類などによりその事実が確認でき、かつ、給付金などの受取人のために給付金などを請求すべき適当な理由があると当社が認めた方に限ります。

給付金などのご請求

指定代理請求人は、認知症一時金などのご請求ができます。

●ご家族連絡先登録制度と指定代理請求特約は同一のご家族をご指定いただくことをおすすめします。

お客さま専用サービス **MYひまわり** と健康支援 サービスのご案内



「MYひまわり」は、いつでもお手元で「生命保険」の内容確認やお手続きができ、「健康」もサポートするアプリ・Webサービスです。

無料



健康診断結果の管理

リスク分析

おすすめの健康行動をご案内

MYひまわりのご利用は、アプリが便利です ▶



お手元ですぐに契約確認
各種お手続きも

スマートフォンで完結

〈代表的なお手続き例〉

ご契約内容の照会

給付金のご請求

住所・電話番号のご変更

改姓・受取人のご変更

歩行管理

歩行記録機能で
あなたの頑張りを応援します。
歩くことで**認知機能低下予防**
にも繋がります。



リスクチェック

健康診断結果を登録すると、**5年以内の健康リスクをAIが予測**

STEP 1

健康診断結果を
カメラで撮影して簡単登録



STEP 2

AIが5年以内に罹患する確率の高い
がんなどの疾病を予測リスクに応じて
おすすめの健康行動をご案内します

5年以内の**予測罹患率TOP 3** ②

1	大腸がん	45%	②
2	高血圧	10%	②
3	糖尿病等	5%	②

●各種お手続きのご利用は、ご契約者さまのみが対象です。●法人のご契約者さまはご加入の保険商品によってはご登録いただけません。●健康リスク予測(検査値異常リスク予測、罹患リスク予測)は、過去の健康診断結果の統計データと登録していただいた健康診断

結果との比較から5年以内の健康リスク(検査値異常リスク、罹患リスク)の予測を表示するものではありません。個人にてご登録ください。

アプリの情報をもとに最適な健康支援サービスをご案内

血糖値が
気になる...

有料

血糖コーチング



いつでもどこでも

血糖変動を
可視化

生活習慣の
改善をサポート

血糖変動に応じたメッセージにより生活習慣の改善を促します。

●契約者・被保険者のみ利用可能です。
●本サービスは当社が提携するシンクヘルス株式会社のアプリ内で提供するものです。

高血糖は、生活習慣の乱れなどが原因で誰にでも起こる可能性があります。また、**糖尿病や心疾患などの発症リスク**に繋がりが、糖尿病を発症すると合併症を引き起こす場合もあります。血糖値を安定させるためには、**バランスの取れた食事や適度な運動が良い**といわれています。

将来、がんに
ならないか
不安...

有料

がん早期発見をサポートする
がんリスク検査サービス



自宅で完結

痛みがなく手軽

複数の部位を
チェック

一度の検査で、
●がんリスク

現在のがんリスクを調べることが可能です。
検査サービスは、当社の提携企業のサービスです。

がんは誰でも罹患する可能性がある病気です。発見が遅れると、**症状が進行し治療が難しくなる**場合があります。また、**がん検診を受けることで、がんの早期発見や治療の選択**させることができます。がん検診は時間もお金もかかるため、**自宅でできるがんリスク検査サービス**をご紹介します。
※がんリスク検査は医師によるがんの診断とは異なります。あくまでもリスクや可能性を計測するに際しては医師・医療機関で行ってください。

ご契約の確認や各種お手続きは、
Web版のMYひまわりでも可能です。

ご登録方法はこちら ▶



- 本パンフレットに記載のサービスは、2024年10月現在のものです。
- 各サービスは予告なく変更・終了する場合があります。また、予告なく提携企業を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご利用にあたってはアプリ内に記載の利用規約・注意事項もあわせてご確認ください。
- 当社が提携する企業のサービスについては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

その他にもご利用いただける健康支援サービスをご案内しております。

認知症サポートSOMPO笑顔倶楽部は

「認知症になる前もなってからもあなたをサポートする」サービスです。

各種サービスを利用し、軽度認知障害(MCI)の予兆把握や認知機能低下予防に取り組んでいただくことができます。

また認知症を発症しても、SOMPOグループを通じた介護施設の紹介を含め、幅広い介護サービスでサポートします。

どなたでも利用可能

認知症に関する
基礎知識・情報のご提供

基礎知識から認知機能低下予防に向けた行動まで、充実の情報を提供します。

- 認知症の基礎知識
- 認知症の最新情報
- 専門家コラム
- 早期発見・予防に向けた行動紹介 など



MCI や認知症に対する正しい知識の取得、早期発見に向けた行動を支援します。

1 知る

どなたでも利用可能
一部ご契約者さま向け

あたまの元気度(認知機能)
チェックのご提供

現在のあたまの元気度(認知機能)から将来の予測まで、様々なチェックツールをご用意しています。

*医療診断サービスではありません。

長期的にチェックが行えるため、
認知機能低下の早期発見に
つなげることが可能です。

*一部有償のサービスがあります。

2 チェックする

どなたでも利用可能
一部ご契約者さま向け

介護関連
サービスのご紹介

介護が必要な状態になった場合に備え、SOMPOケア(介護事業)をはじめとする介護関連サービスをご紹介します。

家族介護者向けに、介護のプロであるSOMPOケアのスタッフが、介護技術や介護者のことからだのケアについてのアドバイスをします。



介護関連サービスをご紹介します、介護の不安・負担軽減をお手伝いします。

*パートナー企業の提供サービスは原則有償です。

4 ケア

ご契約者さま向け

3 予防する
認知機能低下の
予防サービスのご紹介

認知機能低下の予防が期待される運動、対戦ゲーム、レシビなどのコンテンツをご用意しています。パートナー企業が提供する幅広いサービスをご紹介します。また、生活習慣や趣味などに関する質問から、おすすめの実践サービスをご提案するツール「サービスナビゲーター」もご用意しています。

専門分野に特化した
パートナーと連携し、
サービス提供を
行います。



*パートナー企業の提供サービスは原則有償ですが、一部無料で利用可能な予防サービスもあります。

- このサービスはSOMPO笑顔倶楽部を運営する株式会社プライムアシスタンスおよびその提携先の企業が提供するサービスです。
- 各サービスは予告なく変更・終了する場合があります。また予告なくサービス提供企業を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご利用にあたり実際に提供されるサービスについては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本パンフレットに記載のサービスは、2024年10月現在のものです。
- このサービスはSOMPO笑顔倶楽部の加入条件となる有効な保険(主契約または特約を含む)に加入中のご契約者さま・被保険者さま・そのご家族さま(4親等以内)を対象としたサービスです。認知症一時金のお支払事由が生じた場合、特約は消滅しますが、引き続きサービスはご利用いただけます。
- 一部機能は無料でどなたでも利用可能です(会員登録不要)。